

国立中央青少年交流の家「青少年教育施設実習」の受入れについて

1. 実習内容について

- (1) 国立中央青少年交流の家（以下「当施設」という。）社会教育実習等カリキュラムを基に、申込機関の方針等を踏まえ、実習生の要望を取り入れ実習計画を立案します。
- (2) インターンシップにおいても、当施設の組織及び事業の特性上、庶務や会計といった事務系の実習ではなく、社会教育実習と同様に、利用者の受入対応や研修の支援（以下、「研修支援事業」という。）、当施設が実施する青少年及び青少年教育指導者等の研修（以下、「教育事業」という。）の企画・運営といった事業系の実習とします。
- (3) 実習内容は、2. 内容・日程の（1）に参加いただき、（2）に参加いただくことを原則とし、大学等の都合で教育事業期間への参加が困難なときは、日常の研修支援事業での実習も受け入れます。

2. 内容・日程

- (1) 研修会【可能な限りご参加下さい】※実習時間に含まれます。

①事業名：「ボランティア養成研修」

②期 日：5月29日（土）～30日（日）1泊2日

③ねらい：青少年の体験活動を支援するボランティアに求められる資質やスキルを習得し、活動意欲を高めます。また、当施設が主催する教育事業参加者への関わり方や心構えを、講義や実習をとおして学びます。

- (2) 実践編【希望の事業や期間等を選択し、ご参加下さい】

	実習期日・場所	事業名	内容	備考
①	6/11（金）～6/13（日） 2泊3日 交流の家	防災・減災プログラム	自助・共助について学び、防災意識の向上を図るキャンプ。	※【仮】
②	6月～11月（全8回） 日帰り、宿泊を検討	富士のさと 中学会議所	地域課題の解決策を中学生の視点で考え、実践を通して課題解決力を養うとともに持続可能な社会づくりに向けて貢献できる人材の育成を目指す。	※【仮】
③	8/5（木）～8/8（日） 3泊4日 交流の家、キャンプ富士 等	富士のさと イングリッシュキャンプ	英会話を用いた様々な活動をすることで英語に親しむとともに、国際的な感覚を身につけるキャンプ。	
④	10/23（土）～10/24（日） 1泊2日 交流の家	オープンハウス 2021	施設開放事業	

⑤	11/16 (火) ~11/22 (月) 6泊7日 交流の家, 御殿場周辺 等	アセアン加盟国中学生招聘 交流事業	アセアン諸国の中学生 と日本人中学生の交流 を通して, 国際感覚を備 えた青少年の育成を図 るキャンプ。	
⑥	1/8(土)~1/10(月・祝) 2泊3日 交流の家	富士のさと わくわくキャンプ	体験活動や基本的生活 習慣の重要性を, 野外で の活動を通して学ぶキ ャンプ。運営はボランテ ィアが中心に行い, 子供 たちの成長を支援する。	ボランティア養 成研修参加者が 身につけた内容 を, 子供たちを対 象に実践し, スキ ルの向上を図る。
⑦	2/4(金)~2/6(日) 2泊3日 交流の家	富士のさと みくりや親子キャンプ	ひとり親家庭の子供た ちの自立する心を育て る応援キャンプ。	
⑧	3/4(金)~3/6(日) 2泊3日 交流の家	富士のさと わんぱくキャンプ	体験活動や基本的生活 習慣の重要性を, 野外で の活動を通して学ぶキ ャンプ。企画運営はボラ ンティアが中心に行い, 子供たちの成長を支援 する。	ボランティア養 成研修参加者が 身につけた内容 を, 子供たちを対 象に実践し, スキ ルの向上を図る。
⑨	通年・希望日	訪問おはなし広場と 自然遊び塾	御殿場市図書館と交流 の家が連携し, 幼稚園・ 保育園等に出前授業を 行う。	平日の日帰り実 施

※①および②の事業に関しては, 現在検討中です。

なお, 事業内容が変更になることもありますので, 予めご了承ください。

※新型コロナウイルス感染拡大等の状況により, 活動(実習)内容が変更または中止となる場合もありますので, ご了承ください。また, 事前に交流の家HP「当施設の新型コロナウイルス感染症に対する対応」をご覧ください。

3. 実習期間及び時間

- (1) 上記, 研修会・実践編から実習生の参加可能な期間を選択し, 各大学の必要日数に合わせて実習を行います。
- (2) 研修会では, 青少年教育施設や体験活動の意義について学ぶ内容が含まれるため, それらを理解した上で, 実践編に関わることが理想的です。
- (3) 実習は, 初日の朝礼から開始し, 主に教育事業の打ち合わせや準備・運営に携わります。前日泊も可能ですので, 希望がある場合はお問い合わせください。実習期間中は宿泊を伴うものとします。
- (4) 実習期間は, 原則として教育事業の前日からとなります。

- (5) 1日8時間を原則としますが、教育事業の内容によっては、実習時間の延長があります。大学による実習時間の換算が指定されている場合は、それに従って実習時間を算定します。
- (6) 実習日については、交流の家職員との打ち合わせを行って決定します。
- (7) 上記日程以外で行う、利用者の受入対応や、団体の研修を支援する日常の研修支援事業での実習についても可能ですので、期日等をお問い合わせください。

4. 指導について

- (1) 指導は当施設的全職員があたることを基本とし、主担当は企画指導専門職とします。
- (2) 実習は、講義及び実技を通して、青少年教育に関する知識・技術の基本を習得すること、青少年教育に携わる者としての責任感や社会意識を身につけ、青少年教育施設で働く心構えを涵養することを目標とします。
- (3) 主担当は、実習生が受け身一辺倒とならないように、実習生自らが考え工夫するよう指導・助言します。

5. 中央青少年交流の家社会教育実習等カリキュラム

No.	実習名	ねらい	内容【形態】	必・選
1	青少年教育概論	青少年教育及び青少年教育施設の理念や歴史、役割や課題、また、青少年教育施設職員に求められる資質・能力を理解する。	<input type="checkbox"/> 青少年教育とは【講義】 ・青少年教育の理念と歴史 ・青少年教育の現状と課題	必
			<input type="checkbox"/> 青少年教育施設とは【講義】 ・青少年教育施設の役割と歴史 ・青少年教育施設の現状と課題	必
			<input type="checkbox"/> 青少年教育施設の事業と職員【講義】 ・事業の種類と内容 ・青少年教育施設職員の業務 ・青少年教育施設職員に求められる資質・能力	必
			<input type="checkbox"/> 中央交流の家の運営と事業【講義】 ・中央交流の家の運営方針と事業の重点 ・中央交流の家の事業概要	必
2	研修支援	研修支援の意味と内容を理解するとともに、基本的な技術を習得する。 また、利用者対応を通じて、職業人として求められる基礎的なマナーを身につける。	<input type="checkbox"/> 研修支援とは【講義】 ・研修支援の意味と内容 ・研修支援における指導・支援 ・学校の集団宿泊活動 ・青少年教育施設における生活指導	必
			<input type="checkbox"/> 利用相談・プログラム相談【講義・実習】 ・中央交流の家の施設・設備 ・利用の仕方（利用方法・ルール） ・研修支援におけるプログラム ・プログラム相談の方法	選
			<input type="checkbox"/> 朝のつどい・夕べのつどい【実習】 ・つどいの意義 ・つどいの進行 ・レクリエーション指導	必

			<input type="checkbox"/> オリエンテーション【実習】 <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションの意義 ・オリエンテーションの進行 	選
			<input type="checkbox"/> 活動プログラム【実習】 <ul style="list-style-type: none"> ・野外活動プログラム ・その他の活動プログラム 	必
			<input type="checkbox"/> 安全管理【講義・実習】 <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理の意味と内容 ・施設（活動コース）の安全点検 ・応急処置 	選
			<input type="checkbox"/> 利用者対応と施設整備【実習】 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者との接し方 ・電話での対応の仕方 ・施設の整備 	必
3	教育事業	青少年及び青少年教育指導者を対象とした教育事業の意味と内容を理解するとともに、企画・運営の基本的な知識・技術を習得する。	<input type="checkbox"/> 教育事業とは【講義】 <ul style="list-style-type: none"> ・教育事業の意味と内容 ・教育事業の企画から運営までの手順 	必
			<input type="checkbox"/> 教育事業の企画【講義・実習】 <ul style="list-style-type: none"> ・企画の立て方 ・広報の方法 ・評価の意味と方法 	選
			<input type="checkbox"/> 教育事業の運営【実習】 <ul style="list-style-type: none"> ・運営の内容と体制（組織） 	選
			<input type="checkbox"/> 体験活動の指導【講義・実習】 <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた指導方法 	選
4	その他の事業	青少年教育施設で実施される研修支援や企画事業を効果的に実施するための取り組みについて理解する。	<input type="checkbox"/> ボランティア活動【講義】 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の意義とボランティアの養成 	選
			<input type="checkbox"/> 連絡協力の促進【講義】 <ul style="list-style-type: none"> ・連絡協力の促進の意味とネットワーク作り 	選
			<input type="checkbox"/> 調査研究【講義】 <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究の意味と方法 	選
5	修了実習	実習の成果を評価するために修了実習を行う。	<input type="checkbox"/> タベのつどいの進行【実習】	必
			<input type="checkbox"/> 体験活動事業の企画【演習】	

【本件担当】

国立中央青少年交流の家

企画指導専門職 長谷川・藤原・小林

〒412-0006 静岡県御殿場市中畑 2092-5

TEL 0550-89-2020 FAX 0550-89-2025

E-mail : fujinosato-kss@niye.go.jp